

遠慶

新潟教区報 第115号

2016(平成28)年12月20日発行

第三十七回新潟教区仏教婦人大会

元上組仏教婦人会会員・門徒推進員・明鏡寺門徒 中静 イツ子さん

日時 平成二十八年十月二十九日(土) 十時〜十五時

会場 本願寺新潟別院

第三十七回仏教婦人大会が十月二十九日別院で二六二名の参加で開催されました。

大会スローガンは「念仏にいかされるよろこびを行動へ」。テーマは「次の世代に伝えよう 念仏の声といのちの尊さを」。元上組主管です。

明鏡寺は他寺と共に、開会式で音楽法要重誓偈作法の調声とピアノ伴奏担当。

絵本語りは、板垣久仁子さん(元上組・阿弥陀寺坊守)による「くもの糸」の朗読。鷺尾純一さん(元上組・託念寺住職)は、これを題材に信心のあり方をお話し下さいました。昼食は彩り良く美味しいお弁当。そしてみなさんからのグリーナ献金集計額は九四、五〇〇円でした。

いのちのコンサート一部は『戦災から復興・平和への願い』専徳寺合唱団アソカジュニアの無垢な声・しぐさに感激。二部では山崎浩さん(声楽家・作曲家・清泉女学院短期大学教授)と沼田秀美さん(ソプラノ歌手)から、金子みすゞの詩をメロディに乗せて歌とお話を披露いただきました。仏婦式章を身につけた秀美さんの優しげなお姿が印象的でした。記念品は金子みすゞの詩が入ったティッシュ入れ・押し花で飾った栞でした。

今大会は、元上組役員は初の門徒主導でご苦労があったと思えます。傍らに住職・坊守・門徒推進員の居られたことに感謝を。

新潟教区門徒総代研修会に参加して

長岡組西楽寺門徒 川上 強釈 義諦さん

日時 平成二十八年九月二十六日(月)〜二十七日(火)
会場 蓬平温泉 和泉屋 (参加者八十六名)

今回のテーマは「寺院の活性化を考える―
自他共に心豊かに生きるために―」でした。私
は門徒推進員として初めて参加しました。

講師の託念寺住職鷺尾純一さんの基調講
演に続いて班別討議、発表が行われました。
本願寺では、あらゆる人々が「自他共に心
豊かに生きる」ことのできる社会の実現に貢
献する「活動」として、「御同朋の社会をめざ
す運動」(実践運動)を推進しているという。

浄土真宗本願寺派が今、このような活動
を推進していることは素晴らしいことだと思
います。託念寺の活動状況、班別討議で
の各寺院の活動状況も大変参考になりました。
ダブル体操、押し花等の教室、落語
会、コーラス、飲み会、コンサート、浄土真宗の懐の深さを感じます。ま
た、寺院(僧侶)の変化に対する対応力、熱意に頭が下がります。

驚尾さんから問題提起いただいた「自他共に心豊かに生きる」とはどう
いうことでしょうか。『浄土真宗の教章(私の歩む道)』の生活に「―慚愧
と歡喜のうちに、(中略)御恩報謝の生活を送る―」とあります。

私たちは日々ビジネス(仕事)、生活に追われながら明け暮れています。
そこでは効率、損得などが最大の価値基準であり、競争、愛憎が満ち溢れ
ています。

そこに仏教寺院での活動が期待されます。私たちは浄土真宗のみ教えを
依りどころとした生活実践が大切ではないかと考えます。また宗門では
「―教えを(中略)人々に(中略)伝える教団である。―」とあります。「私
の歩む道」は果てしなく続きます。みなさんと一緒に歩んでいきたいと思
います。



第二十五代専如門主伝灯奉告法要 団体参拝

十月より伝灯奉告法要が始まり、新潟教区からは十月二十六日
二十八日にかけて一番最初に巻組が参拝してこられました。参加さ
れた方々の声をお届けします。

源昌寺御門徒 佐々木 則夫さん

縁あって、伝灯奉告法要に参拝出来、ご門主様と共に阿弥陀堂でお念
佛を称えられたことを喜び感謝し、旧跡観光を楽しめた旅でした。

長善寺御門徒 高岡 稔さん

このたびは伝灯奉告法要に参拝、ご門主様ご家族三代元氣な姿を拝見で
きました。天気も良く京都、姫路城など見学でき、企画計画有りがどう
ございました。

長光寺御門徒 伊藤 哲夫さん

莊嚴なる法要にご縁をいただき、本
徳寺・姫路城・有馬温泉と巡り、仏縁
を感じる旅でした。ご本山の晨朝勤行
にご縁がなかった事が残念でした。

明誓寺御門徒 児玉 哲郎さん

二回目の本願寺参拝に感謝します。
秋晴れの姫路城見学や本徳寺参拝を通
じ、蓮如上人の北陸に向けての旅立ち
が、み教えの興隆の一步であったと改
めて思わせていただきました。

善了寺家族 新田 亜弓さん

初めて本願寺の本堂(阿弥陀堂)に
お参りしましたが、貴重な機会にご門
徒のみなさんと一緒に参拝することがで
き、大変良かったと思います。



「子ども・若者ご縁づくり」って？！
子ども・若者ご縁づくり教区マネージャー 山之内 浩乗

つとめて子ども達や若い世代と接点を持つと、話しかけるようにしているのですが、会話の中でその子たちの家庭の様子がみえてくる事があります。

若い人に、「あなたの宗旨は？」と聞くと、今も昔も「わかりません」という返事がだいたい返ってきます。

でも以前は「わかりませんが、祖母がいつもお仏壇の前で『きみよーう むりよーう じゅによらーい』なんとかと書いていましたよ」と答える人が多くありました。それだけ日頃お参りする家庭が多かったのでしょうか。

先日あるご家庭での臨終勤行の最中のことです。そこに来ていた小さな子どもが読経中に、「うるさいよ！」と私の肩を叩きながら言うのです。びっくりしましたが、ひよっとすると、その子の家庭は、手を合わせ、お念仏申す環境ではないのかも知れませんね。

本願寺派が「子ども・若者ご縁づくり」をすすめています。「ご縁づくり」の現場は「あなたの半径五メートル以内からです」と聞きました。

「ご縁づくり」といったら、何か特別なことをしなければ、と考えてしまいますが、まずは私が聞き飲んでいる阿弥陀さまの事を、子どもや若者たちに伝えることからではないか、と茶の間に飾ってある、ご門主様のご染筆『自信教人信』を見ながら思っています。

合掌

新潟教区「御同朋の社会をめざす運動」重点プロジェクト

「子ども・若者ご縁づくり」を進め、地域とお寺のつながりを築く。

「仏教青年連盟結成五十周年記念の集い」に参加して

巻組 長光寺住職 伊藤 教恵さん
日時 平成二十八年十月九日(日) 十四時～二十一時
会場 本願寺御影堂・門法会館・北境内地

私は十月九日に西本願寺にて開催された「仏教青年連盟結成五十周年記念の集い」に参加させていただきました。参加者は現役の会員から過去に関わりがあった方まで幅広い年代の方々でありましたが、式典では特に若い世代の方々と共に勤めができたことに感慨深いものがありました。

ネパール開教事務所長のソナム・ワンディ・ブティヤさんの記念講演では、ご自身のお念仏との出遇いのよろこびを中心とした熱い言葉で語っていただきました。ソナムさんは仏教の盛んな地域で育ち、縁があつて浄土真宗の僧侶となり、開教師として精力的に活動されています。その後、各教区の青年連盟によるブースコンテストが開催され、それぞれ工夫を凝らしたゲームやクイズ等にて楽しい時間を過ごしました。元上組極楽寺の麻田弘潤さんの消しゴムはんこのワークショップも大盛況のようでした。また、東九州龍谷高校の宗教部で結成された「ナムナムガールズ」と影絵を用いて布教をおこなう「ともしえ」の公演がありました。どちらの公演も若い世代の方々が、同世代の人たちにどのようにみ教えを伝えていこうかと様々な試みをしていることに刺激を受けました。特に「ナムナムガールズ」が「ナ・モ・ア・ミ・ダ・ブ・ツ！」とメロディーに乗せ、踊りながら歌っている姿に感動しました。

その後の懇親会にて、各教区において様々な形で青年教化活動を行っていることも知ることができました。当教区は青年教化活動が停滞している状況です。子ども・若者ご縁づくり推進部会にて三月二十六日に中高生を中心としたイベントを企画しておりますので、ご参加、ご協力いただければと思います。



寺院巡り 与板組 雲外寺

与板組の最南に位置する雲外寺は、口伝によりますと、およそ四百数十年前、戦国時代に信州から戦乱をさけて越後に来ましました。落ち着いた場所は、蔵王橋上流の信濃川の中州であったと言われる堂島という地であります。



ところが、毎年のようにおこる洪水に悩まされ続けて、少しでも条件の良い土地を求めて元禄年間に宮関の地に移り、地元の御同朋と共に浄土真宗の教えを受け伝えてきました。

しかし、移り変わる時代の中、まことの教えを守り伝えていくのは容易なことではありませんでした。

特に、一九四五(昭和二十)年八月一日の長岡空襲による焼夷弾の直撃は、庫裏と本堂をすべて焼失させ、まさに寺の存亡に関わる大惨事でした。

その後、幾多の困難を乗り越えて、門信徒の皆様の篤い思いに支えられて今日に至っています。

○今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております。

・新瀧別院除夜会・元旦会

日時 平成二十八年十二月三十一日(土) 二十三日より除夜会
平成二十九年 一月 一日(日) 七時より元旦会

・真宗教団連合新潟県支部 寺院研修会

日時 平成二十九年 一月二十四日(火)
会場 本願寺新潟別院
テーマ 過疎問題について、各宗の取り組みと成果
講師 西谷 明彦さん(中外日報社 編集長)

・若い女性聞法の集い

日時 平成二十九年 三月 四日(土)
会場 本願寺新潟別院

・新瀧別院常例法座

日時 平成二十九年 三月 九日(木) 十時三十分より
会場 本願寺新潟別院
講師 嶋倉 崇雄さん(本願寺派布教使・長野教区)

「身元調査お断り」ポスター

「いのちを損なう社会の問題へ取り組む」ための具体的な推進事業の一環として、「身元調査お断り」ポスターが出来ました。

カラー版ポスター・「遠慶」バックナンバーのダウンロードは下記ホームページから可能です。

教区・別院ホームページ↓

<http://nkyouku.jimdo.com/>

ラジオ法話 新潟教区布教団によるラジオ法話

F Mながおか 八〇.七 毎週月曜(金曜) 十六時十五分より放送中です。
(放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附)

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
〒九四〇一三四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内
TEL:〇二五八七二二二二〇 FAX:〇二五八七二二二五三六